



Shibokusanpou

一隅を照らそう
11月号

310号
毎月28日発行

E-mail:info@tougakuin.jp

ハゼの木

折りふしのはな

お参りの方に

是非見てもらいたいからと

古くからの信者さんが

丹精込めた盆栽を折にふれ

度重なる台風の豪雨による河川の氾濫等は

甚大な被害を及ぼしました 被災された皆様に
心よりお見舞い申し上げます

二つの式典

住職 中島 有淳

天皇陛下が即位を宣言する「即位礼正殿の儀」が22日、皇居にて大勢の海外の賓客も招いて古式床しく執り行われました。平成となつた約三十年前には、昭和天皇が崩御され、世の中は戦争を経験された世代も大勢おられて、即位にかかる行事も、天皇制に対する意識は敏感でした。

いわゆる「政教分離」の問題は令和の代替わりでも多少あつたよう見られますが、今回は譲位というスマースで周到な準備によつて、あまり議論されませんでした。それは戦後世代が増えた事もありますが、この代替わりが国民にとって好意的に受け止められていましたからと思われます。

これは上皇御夫妻が平成の時代に、沖縄をはじめとする各地へ戦没者の慰靈の祈りを捧げられた事や、災害被災地に赴かれひざを着いて励まされたお姿を、マスコミや報道で知る機会が多くつた事が大きいでしょう。

そのような国民感情に寄り添つたお姿やお気持ちは、令和の天皇陛下も踏襲されると表明しておられます。皇室は象徴であり、国民と向き合つたお姿が、これからも考えられていく事でしょう。

「即位礼正殿の儀」の当日、私は以前からの約束で、朝から名古屋へ出かけていました。

数十年來の友人のM師が、寺の住職を退任する式をするというので、その披露パーティーがあつたのです。天皇陛下ご即位の華麗な式典をテレビで観たかったのですが、生憎それは叶わず、友人の退任を「感謝の辞」として聽く事になりました。

その折、M師のこれまでの想いを綴られた印刷物には、「記憶は生命」と題され、多くの友人・知人・恩師・檀家等の交遊に対する感謝が記されていました。いかに人生は、沢山な方々に巡り会い、四苦八苦しながら成長し、歳を重ねてきた事か、実感できました。それは不思議な感覚でした。

M師をとりまく時間が大切に流れている。その中に自分もいる。その事に自分も同じように感謝している……。いまでも、これからも、いつまでもこうした時間を大切にしていこう……と思えた瞬間でした。

七十歳を過ぎ、寺を息子に任せ、自分は「更に大切に時間を過ごしていこう」という、気持ちの区切りのパーティーだつたのでした。人騒がせなM師らしく、我が儘であり、温かい、人情味あふれる式でした……。

川崎の寺に帰り着いてテレビをつけたら、まだ宮中晚餐会が続いていました。

募金のお願い

(〆切十一月十日)

台風による風水害支援金 募集

天台宗「一隅を照らす運動総本部」、アーユス(仏教NGO)へ送金し寄託します。

よとがす

○今上天皇は「高御座」に立たれて「世界の平和を願い 国民に寄り添う」と、のべられました。

○本年も「星祭供」や明年の「開運初護摩供」等のご案内を、十一月中旬にはご信徒の皆様にお届け致します。星祭の申込〆切は十二月八日。お早めにお申し込み願い上げます。

○「ノーベル化学賞」に、旭化成名譽フェローの吉野彰氏(71)が、リチウムイオン電池の開発に加え、地球温暖化など環境対策の貢献が評価されたと。おめでとうございます。

○ラグビー(W杯)日本大会は盛り上がり、日本が初のベスト8に。激しいぶつかり合いの世界はとても魅力と驚きに溢れています。

○本堂の右手、毘沙門天の前に、密檀を設置。威儀を整えました。○『七五三』の祝祈祷願を受付中。お子様の無事成長の願いを、「木札」と「懐中守」に込めて授与致します。ご予約下さい。

月例「止觀(坐禪)会」…1周年特別企画
「歩行禪」9日(土)10:00~11:00(500円)

